

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

《地域の現状》

●笠間地区(笠間連合町内会): 大船駅に近く利便性のよい地区です。戸建てと集合住宅、大規模マンションが混在しています。単身者が住むアパートも多数あります。子育て世代も多いことから地域全体の高齢化率は高くありませんが、一部地域では高齢化率が上昇しています。自治会町内会単位で様々な支えあい・見守り活動が行われていますが、取り組み状況には差があります。

●田谷地区(豊田連合町内会): 田畑や野山が広がるのどかなエリアです。高齢化率は高いものの、3世代で暮らす世帯が多く、町内会を中心に住民による見守り・支え合いが行われています。買い物や通院などの外出には車やバスが必要です。

●長尾台地区(豊田連合町内会): 古くから住む住民同士は繋がりがあり、町内会館や公園で様々な活動が行われています。ここ数年新しい戸建てや集合住宅が増えています。

《今後の方向性》

・積極的に地域に出向き、地域の皆様との信頼関係の構築、顔の見える関係づくりに努めます。

・地域福祉保健計画。地区別計画の推進を区役所・区社会福祉協議会と共に支援すると共に、区計画の推進に取り組みます。

・住民による支え合い活動や見守り活動が更に活発になるよう、活動のきっかけ作りや、担い手の増加に取り組みます。

・地域包括ケアシステム構築のため、医療・介護連携など多職種連携の強化を進めます。

・介護予防に資する取り組みを継続し、元気な高齢者を増やします。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	「高齢者のご近所見守りチェックリスト」を地域で活用して頂けるよう、希望に応じて自治会町内会や各種団体に出向いて説明を行う。
■	<input type="checkbox"/>	地域活動の参加者および担い手の増加に繋がるよう「地域活動・サービスナビ」の情報掲載数を増やす。
■	<input type="checkbox"/>	「栄区高齢者ICTボランティア養成講座」を区・区社協・区内地域ケアプラザで実施。ICTの活用支援を行うボランティアを育成し、高齢者の生活を支援する。
<input type="checkbox"/>	■	自主事業等は、コロナ禍であっても極力中止にせず新型コロナウイルス感染予防を行い実施する。また、内容によってはオンラインを活用する。
<input type="checkbox"/>	■	(医療・介護の連携が図れるように)在宅医療相談室や医療機関など多職種に協力を得て勉強会や事例検討会を行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・「見守りチェックリスト」に関しては、自治町内会での説明の機会が得られず、予定していたサロンでの説明も2月に延期となってしまったが、各種自主事業での周知、また地域ケア会議の場を活用してのアプローチができた。

地域ケア会議では、笠間地区、田谷地区に対して「高齢者の見守りチェックリストを活用し、地域の見守り力の底上げ」という共通方針で、地区別にアプローチ方法をかえ、動き始める事ができた。単発での取り組みとならない様に地区の状況に応じて発展的・継続的に取り組めるような投げかけや提案を行う事ができた。

・AYAMUへの掲載数は増減あるものの登録は出来ているが、そこから「地域活動・サービスナビ」への掲載確認が思う様に進んでおらず、今後「貸館団体連絡会」等を開催し、その際に掲載についての確認を行って行きたいと考える。

・ICTは当事業所生活支援Coが区内の担当として企画、実施に携わってきた。講座が終了し、現在はグループ化に向けて後方支援をしている。参加者の中でも笠間地区在住の方が数名あるため、今後、別の活動や本事業で得た知識をもとに笠間での活動に発展させて行くことができると考えている。

・自主事業に関しては、事業の性質によって会場参加、ハイブリッドなど実施形式を使い分けて行った。ハイブリッド形式に関しては、前年度の実績・課題からノウハウの蓄積につながり、感染拡大の中でも可能な限りの事業実施に繋げる事ができた。

・在宅医療相談室との共催事業や医療機関を講師にお招きしての講座など、各種取り組みを行う事ができた。また、施設協力医の交代後も、以前に引き続き定期的な懇談会の実施につなげ多くの職種に参加していただく事が出来た。

□ 区からのコメント

- ・地域福祉保健計画(地区別計画)の事務局として、会議への出席や連絡調整に取り組んでいただいています。地域の意向を主体としつつも、引き続き、必要に応じて助言等の支援をお願いします。
- ・ボランティア活動を行う方の横のつながりは活動のモチベーションを維持するためにとっても効果的だと思います。引き続き、ちよこつとボランティア連絡会他、様々な機会を通して地域住民のネットワークの構築を維持・強化していくことを期待しています。
- ・医療・介護の連携について、各種講座や勉強会を開催し、またエリア内の薬局の薬剤師との懇談会など、様々な機関との関係づくりに取り組んでいただいています。
- ・引き続き、地域の身近な相談機関として地域や関係機関と連携しながら、研修や講座を実施し、取組を推進していただくことを期待しています。

令和4年度笠間地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	「横浜市」と名のつく施設である事を重く受け止め、地域住民、福祉保健団体、介護保険事業所などに対して公正中立な立場で業務にあたります。特に地域包括支援センターで「事業所の選択」に係る相談を受けた場合は、事業所の一覧を提示するなど、複数の選択肢がある事を相談者に示す取り組みを実践します。	横浜市個人情報の保護に関する条例や、法人の個人情報(プライバシー)保護に対するマニュアル等に従い適切に個人情報を取り扱います。また、職員研修による意識向上に加え、当事業所職員以外の実習生やボランティアの方とも個人情報取り扱いの誓約書を交わし適切な情報管理に努めます。情報漏洩防止策としては、マスキング、ダブルチェック、ネット環境の整備など物理的な対策を講じ予防に努めます。
実績	公正中立に業務を行いました。地域包括支援センターで居宅介護支援事業所等「事業所の選択」に係る相談時は「ハートページ」等の事業所一覧を提示し、複数の選択肢から本人・家族が自由に選べることを説明しました。	個人情報の適切な取り扱いに努めました。年度初めの研修において他事業所での事故事例の共有などを行う他、職員会議でも定期的な注意喚起を行い、個人情報保護の意識向上につながるよう取り組みを行いました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	介護予防と自立支援の視点を踏まえ、自分らしく自立した生活を続けられるよう、介護保険制度やインフォーマルサービス等を活用し支援します。	地域に住む高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を続けられるよう、介護保険制度やインフォーマルサービス等を活用し支援します。
利用料金・実費負担	利用料金はなし。ただし、担当地域を超える地域に訪問・出張する場合はその交通費(実費)を徴収。	利用料金はなし。担当地域を超える地域に訪問・出張する場合はその交通費(実費)を徴収。
職員体制	社会福祉士・主任ケアマネジャー・看護師 〔常勤兼務 各1名〕 予防プランナー〔非常勤専従1名〕	管理者〔常勤兼務1名〕 介護支援専門員〔常勤専従3名、常勤兼務1名〕
契約者数	174名	134名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	(ア)ご利用者が自立した日常生活を営めるように支援します。 (イ)ご家族の介護負担の軽減につながるように支援します。		
実施体制	【実施日数】 359日 【提供時間】 10:00~15:00 【定員】 48名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

<p>利用 料金 ・ 費 担</p>	<p>要支援1 =1.793円 サービス提供体制加算Ⅱ =78円 (1月分) 要支援2 =3.675円(週2回程度ご 利用) サービス提供体制加算Ⅱ =155 円 (1月分) 要支援2 =1.793円(週1回程度ご 利用) サービス提供体制加算Ⅱ =78円 (1月分) 要介護1 = 608円(1割負担) 要介護2 = 718円(1割負担) 要介護3 = 829円(1割負担) 要介護4 = 939円(1割負担) 要介護5 =1.050円(1割負担) 入浴Ⅰ = 43円(1割負担) サービス提供体制加算Ⅱ =20円 (1回ご利用分) 中重度者ケア体制加算 =49円 (1回ご利用分) 食事代 = 730円</p>		
<p>職員 体制</p>	<p>管 理 者 :1名(常勤兼務) 生活相談員 :2名(常勤兼務) 介 護 職 員 :2名(常勤兼務) 介護職員 :9名(非常勤) 機能訓練指導員 :3名(非常勤兼 務) 看 護 師 :3名(非常勤兼 務) 介 助 員 :4名(非常勤)</p>		
<p>契約 者数 等</p>	<p>【延べ利用者数】 12886名 【契約者数】 124名</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ぴよぴよランチ	H23年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て支援。乳幼児とその保護者の仲間作り、ストレス軽減、ちょっとした相談場所を提供する。	3:養育者及び乳幼児		区役所事業(地域育児教室、子育て支援)の後時間をフリースペースとし、昼食が摂れる場とする。主任児童委員、民生委員の見守りで、母親同士が買い物やトイレにゆっくり行けたり、ちょっとした相談ができる。 毎月第1金、第3水曜日(年24回)	7	107
2	出張！駅ひろば	H23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援。広い場所でのびのび遊ぶことを目的とする。	3:養育者及び乳幼児		「親子の駅ひろば」より職員が出張し、乳幼児親子を対象としたイベントを行う。 6月、10月、2月(年3回)	3	82
3	ゆうわ館で水遊びしよう！	H24年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①夏季の遊び場提供 ②養育者のストレス軽減 ③地域活動者と住民の関係づくりの場 ④中学生の地域活動の場の提供	3:養育者及び乳幼児		ゆうわ館の駐車スペースにビニールプールを用意し、プール遊びを実施。室内遊びも出来るよう館内にはおもちゃを用意。水の入れ替え時間をおやつタイムとし、更生保護女性会のPRを行う。地域の中学生がボランティアとしてお手伝い。 7月、8月(年3回)	0	0
4	親子de遊ぼう！わくわくタイム	H14年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①近い年齢の子ども、養育者への遊びの機会提供 ②公立保育園との距離が遠い地域の為、公立保育園とのつながりを作る。	3:養育者及び乳幼児		公立保育園2園の協力で開催。集団遊び、親子遊びを提供。 10月(年1回)	1	21
5	にこりんく共催事業	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	にこりんくのアウトリーチ事業。にこりんくとケアプラザの機能周知の場。	3:養育者及び乳幼児		地域の養育者の興味関心のあることを題材にイベントを開催 9月(年1回)	2	32
6	さかえおもちゃ病院	H17年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	大切なおもちゃを直すことなどを通じて、子どもの健全育成の手助けをする。	4:子ども・青少年		ボランティアによるおもちゃの修理。壊れたおもちゃを持参いただき、直してもらい、長持ちするよう使い方などをあらためて教えてもらう。 毎月第2日曜日(年12回)	10	74
7	コドモアートキャラバン	H30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民文化センターリリスのアウトリーチ事業への協力。	4:子ども・青少年		アートを始める第一歩として、アーティストを招き親子で芸術に触れる。 (時期未定)	0	0
8	障がい児余暇支援	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の余暇の場の提供 ②保護者や関係機関、地域に対して、相談機能を有するケアプラザを周知する ③中学卒業後の障がい児の地域とのつながりの場の提供	2:障害児・者		基幹相談支援センターの協力を得て、地域で暮らす障害児が楽しめる、春夏秋冬の季節に合わせたイベントを開催する。 8月、10月、12月、3月(年4回)	3	61
9	小さなアーティスト展	R3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の表現できる場づくり ②地域周知	2:障害児・者		区社協、区役所の協力を得て、地域で暮らす個別級、特別支援学校に通う子どもたちの作品を表現できる場を作り、地域の方に知ってもらうための区役所、SAKAESTA(さかえすた)等で展示会の開催 (時期未定)	1	471
10	ポッチャ交流イベント	R2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいを持つ方から高齢者まで一緒に楽しめるイベントを行い、ふれあえるきっかけ作りをする。	2:障害児・者	5:地域	障がいのある方と地域の方との交流として、ポッチャと一緒におこなう 調整中(年1回)	13	132
11	移動販売活動支援	R1年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	見守りや地域のつながりを目的とした定期的な移動販売	5:地域		移動販売車による買い物支援、見守りの1ツールとしての役割を目指す 担当エリア内 4ヶ所の活動支援	1	25
12	タクシー会社の見守り事業	R1年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	タクシー会社による見守り体制の充実(特に高齢者)	5:地域		区内タクシー2社による見守り体制の整備	2	80
13	移動支援(乗合タクシー)	R1年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	サロン・通院・地域活動拠点までの移動等に不便を感じている方を対象にした乗合タクシーの活用	5:地域		区内タクシー2社による乗合タクシーの有効活用	0	0
14	ボランティア親睦会	H30年	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動支援	5:地域		ケアプラザに登録し活動している個人・団体に感謝を伝え、今後の活動継続に繋げる。自己紹介。意見交換・情報交換。 秋～冬(年1回)	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	ちょこっとボランティア連絡会	H28年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	住民同士の支え合い・助け合い活動を行っている団体同士が顔を合わせ、現状や課題を共有し、今後の活動に向けて連携をはかる	5:地域		栄区内で活動する団体にお集まり頂く。テーマを決めての勉強会、意見交換等。 (年2回程度)	1	45
16	貸し館団体連絡会	H30年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	施設利用ルールの説明を行い、福祉保健活動を積極的に行っていただけるよう情報提供を行う	5:地域		・施設利用ルール説明 ・福祉保健活動記録の提出について ・災害時の対応について(避難経路の確認) ・団体からの要望聴取、意見交換等 1~2月(年1回)	0	0
17	かさまごはん	H30年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域住民が食を通じて顔見知りになるきっかけの場を提供する。孤食・閉じこもり・引きこもり等の対策につなげる。	5:地域		・ボランティアによる夕食の提供、住民の交流。 5、6、8、9、10、11、12、1、3月 第4木曜日(年9回)	5	563
18	地域ケア会議	H24年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で、出来るだけ安心して暮らし続けるために、住みよい地域を作る(地域包括ケアシステムの構築)	5:地域		実際に支援や見守りを行う実践者が集まり、個人の心配事、困りごとの話し合い、個人を支える地域でのネットワークづくりを行う。この「個別ケース地域ケア会議」を積み重ねることにより、地域内の共通課題を探り「包括レベル地域ケア会議」の開催に繋げる。年3回程度	3	48
19	認知症サポーター養成講座	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の人と家族が安心して暮らせるまちづくり	5:地域		地域のキャラバンメイトと共に認知症の講座を実施。受講者には認知症の人と家族を温かく見守るサポーターの証である「認知症サポーターカード」を配布。ケアプラザが企画する他、地域の団体や機関の依頼に応じて実施する。 年数回	2	31
20	介護者のつどい	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者支援。介護の難しさや悩みを抱えている介護者に対して、介護に役立つ勉強会や情報提供を行いながら、介護者同士のお互いの悩みを話し合ったり情報交換を行う。	5:地域	1	介護者同士の懇談、専門家からの情報提供 5月、10月、2月(年3回)	3	22
21	民生委員との懇談会	H24年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	民生委員と在宅介護の中核をなすケアマネジャーとの連携を密に図り、関係強化を構築することを目的とする。相互の業務の理解、情報交換等を行う。	5:地域		日頃の業務で支援しているケースで、共有すべき問題等の情報を交換して業務に活かしていく。 開催:年2回程度予定	1	33
22	はまレクの日	H21年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で中断されていた事業。高齢者が自分の体の状態に気づき、介護予防の取り組みをするきっかけづくりと、交流の場づくり。感染対策をしながら内容を変えて再開する。また、保健活動推進員自身の健康増進や、地域での活動に求められる知識を学ぶ。	5:地域		計測、はまちゃん体操ポイント説明、「健康長寿さかえ応援ノート」紹介、栄養、転倒予防、口腔ケア等 5~9月頃	0	0
23	栄区高齢者ICTボランティア養成講座	R4年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられることを目指して、高齢者に対しICTのサポート役を養成する。	1:高齢者		基調講演、スマホ講座等(詳細検討中) 8~10月(全5回)	11	165
24	気軽におしゃべりしてみませんか?	R4年	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	コロナ禍で活動の場が少なくなっている傾聴ボランティアの活動の場提供と、地域で個別に話を聞いてもらいたい高齢者をマッチングし、双方のいきがい・やりがい・喜び等を創出する。	1:高齢者		支援者(包括職員、ケアマネジャー、民生委員等)からの紹介を受け、ボランティアと日程調整をし、傾聴の時間を持ってもらう。 随時開催	35	47
25	栄区地域ケアプラザ7館合同自主企画よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	H24年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①身近な会場で研修会を受けていただく機会の提供 ②ボランティア拡充	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの概要やボランティアについての講習。受講者にはボランティアポイントカードが発行される。 11月(年1回)	1	8
26	権利擁護相談会	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	身近なケアプラザで専門家に成年後見・遺言・相続などの相談が出来る場を作ることで、成年後見制度の利用促進、または自分らしい「老い支度」を支援する。	1:高齢者	5	司法書士・行政書士による個別相談会 後期 区内地域ケアプラザで1回ずつ、計7回開催	1	8
27	終活講座	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が人生の最期まで自分らしく生きることができるよう、自らの意思で自身の生き方を選択できるよう支援する。栄区版エンディングノート「SAKAEシニアライフノート」の普及啓発。	1:高齢者	5	専門家による講義 「認知症になった場合に備える:任意後見と家族信託」「高齢者施設について」 年2回	1	22
28	地域に広げよう転倒予防体操	R4年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者の転倒事故を防ぐための普及啓発を行うとともに、転倒予防体操を身に付け、地域に広めていく人材の発掘、育成を行う。	1:高齢者	5	転倒予防体操(講師:黒田恵美子先生/ケア・ウォーキング普及会 健康運動指導士) サテライト方式 7月(年1回)	1	24

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
29	フレイル予防講座 (介護予防講座)	R4年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	自分の体の状態を知り、フレイル予防の大切さを理解して、自分に合った介護予防の取り組みをするきっかけづくりをする。	1:高齢者		計測、転倒予防、栄養、口腔ケア、「健康長寿さかえ応援ノート」紹介、等	4	73
30	心の健康講座①②	R3年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスの影響で、人と関わる機会が減り、閉じこもり、うつが増加している。心の持ち方を変えていくことで、閉じこもりを防ぎ行動変容を促す。	1:高齢者		①令和3年度、新型コロナ感染拡大のため中断していたハッピープログラムの個別の取り組み。3か月間各自で取り組み、3か月後に集まってその成果を話し合う。 ②個々が日常で自分なりのプログラムを継続できるようストレッチ、回想法を取り入れながら、取り組みの成果を励まし合う。	0	0
31	支え合う仲間づくり	R4年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域で自主的に活動しているメンバーそれぞれがお互いの見守り支えとなり、つながりを深めることが、自身やメンバーの介護予防の効果を高めることにつながることを理解してもらい、介護予防の意識の高い地域づくりを目指す。	1:高齢者		元気づくりステーションのリーダー、地域サロンのリーダー、貸館団体の代表、ボランティアポイント講座参加者を対象に、JAGESの結果や考察を踏まえた介護予防の知識を学ぶ。	1	23
32	ポールウォーキングフォロー講座	R3年	4:共催(1と2)		コロナ禍でも安心して取り組めるポールウォーキングの自主会が今年度立ち上がった。グループの活動が安定し、より活性化していくよう、ポールウォーキングの効果を実感できる実践方法を学ぶ。	1:高齢者		ポールウォーキングの正しい姿勢、歩き方、計測等	0	0
33	地域サロン出前講座	H27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者に役立つ情報を伝える。ケアプラザ相談機能の周知。参加者および担い手との顔の見える関係作り。	1:高齢者		地域サロやシニアクラブなど高齢者等が集まる場に出向き、ミニ講座を行う。 【講座テーマ】 5 介護予防、転倒予防、疾病予防、認知症予防(実技含む)、「SAKAEシニアライフノート」「健康長寿さかえ応援ノート」「もしも手帳」等の紹介、介護保険について、等	0	0
34	かさまケアマネサロン	H27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーのケアマネジメントスキル向上と知識(医療や制度等)を深めることを目的とする。	6:事業者		ケアマネジメントに必要な技術・知識を学ぶ。 ・高齢者の身元保証と終活を考える ・対人援助技術について等 ・事例検討会 開催:年2~3回程度	2	61
35	在宅医療相談室との共催事業	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療機関との連携強化に伴い、栄区の医療相談室を窓口として、栄区医師会とも連携を図り、事例検討会や多職種連携の分野で、医療と介護の課題についての研修を開催。対象者への学びの場として位置付ける。	6:事業者		・認知症講座(認知症のVR体験) ・ACP普及講座 ・その他 開催:年数回予定	2	114
36	医療との連携推進「薬局薬剤師との懇談会」	H27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の中で最も身近な医療機関である薬局。その薬剤師との交流から、地域に向けて薬剤師のできること・役割について話し合い、多職種との協働も同時に考え具体的な活動を行っていく。	6:事業者		事例検討や勉強会、ケアマネをはじめサービス支援者との懇談 開催:年2回程度	2	40
37	施設協力医との懇談会	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	施設協力医と包括をはじめ、ケアマネやサービス事業者との関係の構築と連携強化を目的として定期的な懇談を行う。	6:事業者		・テーマを設けた情報交換 ・事例の検討 ・医療相談 等 開催日時:調整中	9	59
38	新任及び就労前ケアマネジャー研修	H24年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	居宅介護支援事業所の新任ケアマネジャー又は、就労をこれからする予定の者に対して、ケアマネジャー業務のスキルアップを図る。	6:事業者		ケアマネジメント技術、対人援助技術、制度やサービスについて、医療と介護の連携について 等 開催:年1~2回程度	1	4
39	高齢者虐待出前講座	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者虐待の予防・早期発見	6:事業者		介護保険事業所等に出向き高齢者虐待についての出前講座を行う。 依頼に応じて年数回	8	232
40	成年後見制度出前講座	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度の普及啓発	6:事業者		居宅介護支援事業所に出向き、ケアマネジャー向けに成年後見制度についての出前講座を行う。制度をわかりやすく説明するとともに、成年後見制度等の利用が必要なケースは包括に相談するよう呼びかける。 依頼に応じて年数回	4	23
41	はまレク勉強会	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者の介護予防普及のための、保健活動推進員を	5:地域		保健活動推進員に介護予防の知識を学んでもらい、地域への啓発活動に生かしてもらおうとともに、はまレクを再開する準備をする。	5	52

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-----------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
42	歩きが気になってきたら	R4年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍でフレイル呼ばれ軍が増えている。自身の筋力測定を行い、客観的に自身の体について理解し、取り組みのきっかけづくりをする。	1:高齢者		健康長寿さかえ応援ノートを活用し、介護予防への理解を深めるとともに、フレイル予防に取り組むため、運動器等の計測を行ってもらい、改善のための運動を学ぶ。	1	31
43	田谷ふれあい広場(計測ブース)	H28年				5:地域		田谷の地域住民同士の交流の場であるふれあいまつりのイベントとして、高齢者の計測を行い、介護予防の取り組みのきっかけづくりをする。	1	36
44	サロン体操(出前)	H 26年				1:高齢者		普段の自主事業にはあまり顔を出さない地域住民も集う地域のサロンに出向き、介護予防に関心を持ってもらうための働きかけをする。	34	715
45	笠間楽しく筋トレ計測解説	R4年				1:高齢者		筋トレのグループが、計S丸を通して筋トレの成果を確認したり、励みにするために、正しく評価する考え方を学んでもらう。		
46	新米パパのニコニコ子育て講座	R4年				3:養育者及び乳幼児		初めて子育てをする父親の支援。乳幼児とその保護者の仲間作り、ストレス軽減、地域とのつながりの場作りのきっかけとする。	2	31
47	イケてるグランパ・グランマ代作成	R4年				1:高齢者		アクティブシニア(特に男性)に孫育てをテーマに連続講座を開催し、グループ化を目指す。	4	48
48	耳の聞こえをあきらめない	R4年				1:高齢者		高齢になると難聴を自覚する人が増えてくるが、それにより、人との交流を避けるようになる傾向がある。難聴を正しく理解し、正しく対応して、交流を続けることを提案する。	4	26

令和4年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,127,928	1,020,823	19,148,751	19,148,751	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	3,900	△ 3,900	
雑入	0	0	0	124,599	△ 124,599	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	59,416	△ 59,416	
その他			0	65,183	△ 65,183	
その他	3,185,000	1,106,000	4,291,000	3,185,000	1,106,000	横浜市物価高騰対策支援金
収入合計	21,312,928	2,126,823	23,439,751	22,462,250	977,501	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,230,800	0	9,230,800	7,324,603	1,906,197	
本俸	5,645,000		5,645,000	4,450,269	1,194,731	
社会保険料	773,000		773,000	636,668	136,332	
手当計	2,616,300		2,616,300	2,073,178	543,122	
健康診断費	28,000		28,000	22,207	5,793	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	82,300		82,300	76,718	5,582	
その他	86,200		86,200	65,563	20,637	
事務費	3,126,000	0	3,126,000	2,604,468	521,532	
旅費	14,000		14,000	21,000	△ 7,000	交通費(スイカ)等
消耗品費	284,000		284,000	402,386	△ 118,386	コピー用紙、ペーパータオル他
会議賄い費	35,000		35,000	8,064	26,936	運営協議会飲料等
印刷製本費	29,000		29,000	41,920	△ 12,920	広報誌、名刺印刷等
通信費	518,000		518,000	537,916	△ 19,916	電話料金、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	41,000		41,000	0	41,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	55,000		55,000	73,101	△ 18,101	施設賠償責任保険
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	4,000		4,000	3,410	590	振込手数料
リース料	1,372,000		1,372,000	1,265,447	106,553	AEDリース、ルエ大船駐車場・駐輪場
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	5,000	△ 5,000	
その他	774,000		774,000	246,224	527,776	ガソリン代、新聞購読料他
事業費	500,000	0	500,000	22,113	477,887	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	22,113	477,887	
その他	0		0	0	0	
ICT整備費（追加）	0	0	0	197,923	△ 197,923	
ICT整備費（追加）			0	197,923	△ 197,923	ノートパソコン他
オンライン相談機器整備費（追加）	0	0	0	0	0	
オンライン相談機器整備費（追加）（モデル実施対象施設）			0	0	0	
サニタリーボックス（追加）	0	0	0	994	△ 994	
サニタリーボックス			0	994	△ 994	サニタリーボックス
管理費	7,982,128	0	7,982,128	8,091,803	△ 109,675	
光熱水費	1,906,000		1,906,000	4,247,063	△ 2,341,063	
清掃費	282,000		282,000	287,605	△ 5,605	
機械警備費	222,000		222,000	221,908	92	
設備保全費	648,000	0	648,000	682,586	△ 34,586	
空調衛生設備保守	243,000		243,000	243,320	△ 320	
消防設備保守	88,000		88,000	86,526	1,474	
電気設備保守	24,000		24,000	23,768	232	
害虫駆除清掃保守	54,000		54,000	53,531	469	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	239,000		239,000	275,441	△ 36,441	
共益費	239,000		239,000	197,090	41,910	
その他	4,685,128		4,685,128	2,455,551	2,229,577	ルエ大船管理組合費、修繕積立金他
修繕費	474,000		474,000	1,120,141	△ 646,141	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0	3,185,000	△ 3,185,000	施設使用料
支出合計	21,312,928	0	21,312,928	22,547,045	△ 1,234,117	
差引	0	2,126,823	2,126,823	△ 84,795	2,211,618	

自主事業費 収入	0	0	0	3,900	△ 3,900	
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	22,113	477,887	
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 18,213	△ 481,787	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	59,416	△ 59,416	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	59,416	△ 59,416	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市空間地域ケアプラザ」
 収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,279,692	0	24,279,692	24,279,692	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	5,400	△ 5,400	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	142,727	△ 142,727	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	142,727	△ 142,727	
その他	2,124,000		2,124,000	2,124,000	0	
収入合計	32,359,692	0	32,359,692	32,507,819	△ 148,127	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,956,620	0	26,956,620	30,546,128	△ 3,589,508	
本俸	15,567,000		15,567,000	17,067,876	△ 1,500,876	
社会保険料	3,214,310		3,214,310	3,858,043	△ 643,733	
手当計	7,691,600		7,691,600	9,021,787	△ 1,330,187	
健康診断費	56,000		56,000	50,943	5,057	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	258,000		258,000	356,292	△ 98,292	
その他	169,710		169,710	191,187	△ 21,477	
事務費	1,932,000	0	1,932,000	1,929,346	2,654	
旅費	15,000		15,000	19,938	△ 4,938	交通費(スイカ)等
消耗品費	310,000		310,000	186,740	123,260	コピー用紙、ペーパータオル等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	7,000		7,000	15,400	△ 8,400	名刺印刷
通信費	375,000		375,000	343,630	31,370	電話料金、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	49,000		49,000	0	49,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	67,000		67,000	77,797	△ 10,797	施設賠償責任保険
職員等研修費	0		0	2,000	△ 2,000	
振込手数料	7,000		7,000	6,655	345	振込手数料
リース料	459,000		459,000	0	459,000	車両リース、ルエ大船駐車場・駐輪場
手数料	0		0	13,200	△ 13,200	電子証明書発行手数料(国保連)
地域協力費	0		0	5,000	△ 5,000	町内会祝金
その他	643,000		643,000	1,258,986	△ 615,986	ガソリン代、自動車任意保険料他
事業費	1,334,000	0	1,334,000	473,896	860,104	
協力医	630,000		630,000	189,000	441,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	67,895	△ 17,895	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	500,000		500,000	63,001	436,999	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
管理費	2,011,072	0	2,011,072	4,057,550	△ 2,046,478	
光熱水費	507,000		507,000	1,128,965	△ 621,965	
清掃費	75,000		75,000	76,451	△ 1,451	
機械警備費	59,000		59,000	58,988	12	
設備保全費	174,000	0	174,000	181,441	△ 7,441	
空調衛生設備保守	65,000		65,000	64,680	320	
消防設備保守	24,000		24,000	22,999	1,001	
電気設備保守	7,000		7,000	6,318	682	
害虫駆除清掃保守	14,000		14,000	14,229	△ 229	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	64,000		64,000	73,215	△ 9,215	
共益費	64,000		64,000	52,390	11,610	
その他	1,132,072		1,132,072	2,559,315	△ 1,427,243	ルエ大船管理組合費、修繕積立金他
修繕費	126,000		126,000	297,759	△ 171,759	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	32,359,692	0	32,359,692	37,304,679	△ 4,944,987	
差引	0	0	0	△ 4,796,860	4,796,860	

自主事業費 収入	0	0	0	5,400	△ 5,400	
自主事業費 支出	704,000	0	704,000	284,896	419,104	
自主事業 収支	△ 704,000	0	△ 704,000	△ 279,496	△ 424,504	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市笠間地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,813	4,787		4,947	5,617	-670	26,538	26,945	-407	113,000	114,185	-1,185
	その他	0	0	0	0	0	0	3,785	5,064	-1,279	4,449	3,802	679
	委託事業収入			0			0	1,126	1,189	-63	0	0	0
	補助金事業収入			0			0	0	0	0	300	210	90
	寄附金収入			0			0	0	0	0	0	32	
	受取利息配当金収入			0			0	0	0	0	0	1	-1
	受入研修費収入			0			0	0	0	0	0	32	-32
	雑収入			0			0	0	0	0	0	23	-23
	サービス区分間繰入金収入			0			0	2,600	3,724	-1,124	4,107	3,462	645
	その他			0			0	0	0	0	42	42	0
収入合計(A)		3,813	4,787	-974	4,947	5,617	-670	30,323	32,009	-1,686	117,449	117,987	-538
支出	人件費			0			0	25,814	26,087	-273	84,301	78,052	6,249
	事務費			0			0	827	842	-15	2,099	2,612	-513
	事業費			0			0	3		3	18,317	17,622	695
	管理費			0			0	30	97	-67	9,730	9,624	106
	その他	1,566	3,111	-1,545	2,473	3,569	-1,096	6,105	6,155	-50	244	9,131	-8,887
	利用者負担軽減額			0			0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	1,566	3,111	-1,545	2,473	3,569	-1,096	0	0	0	0	0	0
	ファイナンスリース債務の返済支出			0			0	977	977	0	244	244	0
サービス区分間繰入金支出			0			0	5,128	5,178	-50	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出			0			0	0	0	0		8,000	-8,000	
固定資産取得支出			0			0	0	0	0	0	887	-887	
支出合計(B)		1,566	3,111	-1,545	2,473	3,569	-1,096	32,779	33,181	-402	114,691	117,041	-2,350
収支 (A) - (B)		2,247	1,676	571	2,474	2,048	426	-2,456	-1,172	-1,284	2,758	946	1,812

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。